岩手県立胆沢病院 地域医療連携だより

2019, 10

~ 地域を支える、生命を守る、未来を育む医療を目指して ~

奥州市の昨今の小児医療事情より県立胆沢病院小児科では診断治療が必要な地域のお子様をできる だけ診ていける(地産地消)ように体制強化に取り組み始めています。平日時間内の一般診療はなるべ くこなしていくこと、同時に少しずつ専門外来を強化していくことが直近の課題となっております。 8月からは少しでも受診しやすいように受診枠を増やした外来予定表を作成いたしました。

また、時間外救急で受診されたお子様もなるべく小児科が関わっていくようにし必要に応じて小児 科でフォローさせていただきます。また、必要な場合は入院という形をとらせていただきます。特に昨年 の冬場は、北上市や一関市の病院に肺炎、気管支炎、急性胃腸炎、RS感染症、インフルエンザ、痙攣などで 入院した奥州市在住のお子様が多く、少しでもそのような状況を改善しなければならない状況です。

専門外来に関しては県内ではまだ少ないですが、内分泌代謝外来を8月から始めました。低身長、 甲状腺疾患、肥満症、高コレステロールなど多くの疾患が対象となります。神経外来とアレルギー外来に ついては全国的には一定規模の総合病院や公立病院の大部分が設定しています。当院では月に1日、 東京都内勤務の先生の御好意で神経外来をしていただいていますが、それ以外はまだ目途がたってい ません。なるべく早急に設置できるように働きかけています。





(文責:小児科長 長坂博範)



## 岩手県立胆沢病院の基本理念

### <基本理念>

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します。

### <行動指針>

- 1) 患者さんと家族、私たちとの協働医療(専門性を結集した多職種による、患者参加型のチーム医療)
- 2) 患者さんの背景・価値観に配慮した医療
- 3) 患者さんが安心できる、良質で安全な医療
- 4) 地域の医療・福祉・行政との連携と機能分担
- 5) 次の世代を担う優れた医療人の育成

### <病院運営方針>

- 1) 救急医療を含む急性期医療
  - 胆江保健医療圏域の基幹病院として、24時間対応の救急医療など、圏域の急性期医療、高度・専門医療を担います。
- 地域がん診療連携拠点病院として、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど専門的ながん医療の提供や、がん患者に対する相談支援・情報提供を行います。 3) 地域医療支援
  - 地域医療支援病院として、紹介・逆紹介の推進、地域医療機関との共同診療、地域の医療従事者・地域住民に対する研修・教育を行います。
- 4) 災害医療
  - 地域災害拠点病院として、災害時の傷病者の受入れや地域医療機関への支援、DMATチームの派遣を行います。
- 5) 臨床研修、スタッフ教育 臨床研修指定病院・各種学会認定研修施設として、次の世代を担う医療従事者を育成するとともに、病院スタッフの研鑽に努めます。 上記5項目の実践・充実のため、誇りを持てる職場づくりと健全な病院運営に努めます。

# 出前医療講演実施しております!!



当院では、地域の医療を担う病院として、訪れる患者さんを診るだけでなく、地域に赴き、地域住民が医療や健 康に関心を寄せ、地域医療への理解を深めることを目的として、出前医療講演を行っています。

7月5日は聖愛園にっかわで小野寺真知子救急看護認定看護師が「緊急応急処置について」と題し29名の 方々に、7月23日の午前は水沢地区センターで鈴木俊郎副院長が「SAS(睡眠時無呼吸症候群)について」と題 し36名の方々に、午後は真城地区センターで鈴木雄副院長が「どのように最期を迎えたいか・どのように最期を支 えたいかを考える」と題し35名の方々にお話を聞いていただきました。

どちらの会場でも熱心に耳を傾けながら頷いている様子や、一生懸命メモをとる様子が多くみられ「わかりやすく 勉強になった」「信頼する人たちと話し合うきっかけにしたい」などの感想をいただきました。

また、今年度は講演テーマの見直しを行いメニューも更新しております。下記のとおり35のメニューを用意しており ますので、どうぞ、お気軽にご利用ください。







7月5日聖愛園にっかわにて

7月23日水沢地区センターにて

7月23日真城地区センターにて

	講演テーマ(メニュー)							
1	呼吸不全について	19	ストーマケアについて					
2	気管支喘息について	20	キズの手当てについて					
3	COPD(慢性閉塞性肺疾患)について	21	緩和ケアについて					
4	肺線維症について	22	インフルエンザやノロウイルスを防ぐために					
5	結核について	23	リンパ浮腫について					
6	SAS(睡眠時無呼吸症候群)について	24	尿失禁とおむつについて					
7	肺がんについて	25	食中毒を防ぐために					
- X	どのように最期を迎えたいか・どのように最 期を支えたいかを考える	26	認知症について					
9	乳がんについて		いのちの終わりについて話し合うということ					
10	脳血管内治療について	27	~アドバンス・ケア・プランニング・エンディング ノートについて~					
11	脳卒中の治療全般に関して	28	おくすりの正しい飲み方について					
12	アルツハイマー病について	29	放射線及び放射線被ばくについて					
13	感染を予防する正しい手洗いや、咳エチケットの方法	30	最新医療器機(放射線部門)の紹介					
14	緊急応急処置について	31	がんと栄養について					
15	口腔ケアについて	32	バランス食について					
16	呼吸ケアについて	33	減塩食について					
17	抗がん剤治療中の生活について	34	介護予防について					
18	床ずれについて	35	糖尿病(運動療法)について					

※申込対象者・受講者数等条件がございます。開催日時・場所、申込方法等、詳細については、当院 ホームページをご覧いただくか、地域医療福祉連携室までお問い合わせください。

(お問い合わせ先: 160197-24-4121 内線1158)

地域医療福祉連携室 及川 里香

今回は、奥州市地域包括ケア推進室の主査鈴木さんに在宅 医療・介護連携の推進についてお話を伺いました。

―在宅医療介護連携推進の取り組み状況について教えてくださ

▲平成28年度から取り組みを始め、最初に医療介護の情報 を関係者向けにリスト化をおこないました。一般の方向 けと関係者向けの情報を分けてウェブサイト上で公表す ことも今後予定しています。また、入退院時の医療介護関係

者の情報共有ということで、入退院時の情報共有シートを昨年新しく作成しました。使っていた だいてますでしょうか?

一ケアマネジャーさんも新しい様式で在宅情報シートを持ってきていただいていますし、退院前 のカンファレンスでも様式を活用させていただいております。

実際どのように使っているか今後アンケートをさせていただく予定ですので、そのときは 忌憚のないご意見をお願いします。また、昨年、在宅療養者に関わる医療・介護関係者が 情報共有をおこなうための完全非公開SNSのシステム(メディカルケアステーション)を試 行運用しました。今後、ケアマネジャーさんをはじめ医療介護関係者に対する勉強会も予定する

ので、使ってみて「いいな」ということが広がっていければい いと思っています。

―現在設置が進められている在宅医療の連携拠点について、 実際どのような役割を持つ部署となるか教えてください。

🧥 地域包括ケア推進室内に今年中に設置予定としておりま これまで取り組んできた事業を推進していくように なるかと思いますが、拠点設置後は特に相談支援に力を入れて いきたいと思います。窓口があることをお知らせしていくこ で、医療と介護の連携に関わる相談が少しずつ入ってくればい いなと思います。

一色々な取り組み内容をうかがいまして、医療機関やケアマネ ジャー等との連携が欠かせない部分かと思いますが、連携上心 掛けていらっしゃることはございますか?



12箇所・19市町村に設置

出典:岩手県保健福祉部医療政策室



地域包括ケア推進室 主査 鈴木さん (中央) インタビュアー MSW岡田(左)、主事及川(右)

今までツールづくりに力を注いできたため、直接医療介 護関係者の方々とお話しするような場面があまりなかっ たので、これからは職能団体ごとに顔の見える関係で連 携を深めていければなと思っております。どういったところ で連携に関することで困っているか、関係者の方々から教え

~医療・介護連携に関するお問い合わせ先~

ていただきたいです。

奥州市 地域包括ケア推進室 連絡先:0197-34-2906 (直通)

## 年末年始期間中の診療体制について

imes ime

右記の期間、外来診療(全科)を休診し、 当直医師による救急診療体制となります。 ※救急のご紹介の際は、中央処置室に ご連絡をお願いします。 12月31日(火)、1月1日(水) 1月2日(木)、1月3日(金) 1月4日(土)、1月5日(日) ※12月30日(月)は診療日となります

ご紹介い!

# もの忘れ外来

認知症の診断、治療方針の設定を行うことを目指しまず

診	療	科	精神科(精神科長 鬼澤 民雄)	
診	療	$\Box$	毎週月・水曜日	
紹介方法			• 完全予約制	
		去	・紹介患者FAX予約をご利用	
			ください	
受診時は、必ずご家族(または代理になる方)が				

受診時は、必ずご家族(または代理になる方)か 同伴するようにお伝えください。

【お問い合わせ先】

紹介センター TELO197-24-4121 (代表)



## 医師退職のお知らせ

令和元年8月末 第1外科長 谷村 武宏 ※令和元年9月から 応援医師として診察 しています。





当院では、「がん患者・家族サロン」を開催しています。サロンは、お茶を飲みながらがん患者さんやそのご家族が集まり、交流や情報交換をする場です。がんの患者さんやそのご家族であれば、通院している病院に関係なくどなたでもご参加いただけます。

【開催日時】 毎月第2木曜日の14時~16時

【場 所】 院内の喫茶店「ジャマイ館」

サロンへの参加をご希望の場合は、胆沢病院地域医療福祉連携室までお申し込みをお願いします。 ※問合せ先地域医療福祉連携室:24-4121(内線1065·1158)





## 岩手県立胆沢病院 地域医療福祉連携室

**T**023-0864

岩手県奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地

TEL 0197-24-4121

FAX 0197-24-4180 (紹介センター専用)